

支援事業終了報告

韓国でも江別まつりと、ええぜよー!

江別まつりとええ&北海道情報大学
柏木 真紀子

昨年の9月20日と21日の2日間、YOSAKOIソーラン祭りを代表して初めて韓国ウオンジユダイナミックフェスティバルでの演舞を果たしてきました。ダイナミックフェスティバルは4回目を迎え、学校や地域単位で結成した121チーム、計約1万人が、チアダンスや伝統舞踊などの各分野で踊りを競い合う大規模な祭りです。海外チームは中国やロシア、そして日本からの「江別まつことええ&北海道情報大学」を含む11チームが出場しました。YOSAKOIソーラン祭りとは、ダイナミックフェスティバルとが相互交流を図る中で、22年連続YOSAKOIソーラン祭り出場、2012年準大賞受賞の「江別まつことええ&北海道情報大学」に公式韓国派遣チームへの白羽の矢が立ったのです。

メインステージはパレード形式。パレード形式の場合は路上を使うとの常識を覆し、何と奥行き120メートル、幅15メートルの体験したことの無い巨大ステージが目玉に広がりました。日韓関係が心配される中での演舞でしたが、この会場でも「江別まつことええ&北海道情報大学」のチーム名が紹介された途端に、「待つてましたー」と言わんばかりの大拍手が鳴り響き、胸に熱い思いがこみ上げてくるのを止められませんでした。その期待に応えるようにと韓国語であいさつし、踊りを通して笑顔と元気を届けたいこと、韓国と日本の架け橋になりたいことを伝えました。そ



して、チーム丸となった全力での演舞。「すごいーすごいー」とのアンコールの嵐。チームを象徴する【ま】のマークの大旗も提灯も韓国の大空に高くと舞い上がりました。嬉しいことにダイナミックフェスティバルの主催者からも「細やかな動きとダイナミックさが共存した素晴らしい踊りであった。」と高評価をいただき、「またいつか、このステージに立ちたい、立つぞー」との思いを強くしました。

この度の遠征においても江別市生涯学習推進協議会から温かな支援をいただき、心より感謝申し上げます。学んできたことを

つなげて更にチーム力を高め、江別市を盛り上げていく力の二つになつていきたいと思えます。今後とも「江別まつことええ&北海道情報大学」を応援していただき、すよう、どうぞよろしくお願いたします。2015年も全道全国、海外にまつことの大きな輪を広げる1年にしていきます。

かつて舞台化された映画の上映会を開催

江別演劇鑑賞会 上野 美智子

江別演劇鑑賞会は、会の活動を市民の皆さんに広めていきたいという目的と共に、演劇が好き人は映画も好きという思い込みも、かつて舞台化された映画の上映会を試みようとして、野幌公民館の視聴覚室を会場にして上映会を2回行いました。

まず第1回目は、10月28日にアメリカ映画の「八月の鯨」と、邦画の「12人の優しい日本人」を上映しました。「八月の鯨」は無声映画時代の2大スターが姉妹役で共演した作品ですが、撮影時は姉役の女優が79歳、妹役の女優が91歳という年齢に皆さん驚かされていました。舞台の方は、日本を代表する女優の奈良岡朋子、日色とも系の共演で、2014年の6月に江別(劇団民藝)で上演しています。

「12人の優しい日本人」は三谷幸喜脚本の舞台を映画化した作品で、今は中堅俳優になった豊川悦司他が出演した喜劇作品です。第1回目の上映会には合計で60名の来場がありました。第2回目は、11月26日に「オカンの嫁入り」(出演:大竹しのぶ、宮崎あおい他)を上映しました。この映画は、今年の2月に熊谷真実、佐藤アツヒロ(元 光GENJI)のメンバー)他で舞台上演されました。この上映会には100名近い入場があり、何度もイスを追加するなど準備に手間取つてしまい、時間通りに始めることが出来ず、来場された皆さんにはご迷惑をおかけしました。でも、市内だけでなく近郊からも来ていただいたことは、大変嬉しく感じました。また、身近で映画を観たい方が多くいらっしゃることを知ることも出来ました。次回開催する時は、準備を整え万全の体制で皆さんをお迎えしたいと思えます。



最後に、この映画上映会を開催するにあたり、江別市生涯学習推進協議会からご支援を賜りましたことを心より厚く御礼申し上げます。

地域の親子が子育てを楽しむ、息抜きできる場としておはなし会を開催してきて5年、少子化の影響で参加者は少ないけれど、「ここに来るとホッとする」「ゆっくりと親子で楽しめます」など、いつもうれしい声が聞けて私たちがの励みにもなっています。今まではあえて大々的に宣伝はせず、会場近くの地域のみのお

「こねつと」おはなし会 夏休みスペシャル

子ども文化ネットワーク江別 高木 玲子

「こねつと」おはなし会は、地域の親子が子育てを楽しむ、息抜きできる場としておはなし会を開催してきて5年、少子化の影響で参加者は少ないけれど、「ここに来るとホッとする」「ゆっくりと親子で楽しめます」など、いつもうれしい声が聞けて私たちがの励みにもなっています。今まではあえて大々的に宣伝はせず、会場近くの地域のみのお

「こねつと」おはなし会は、地域の親子が子育てを楽しむ、息抜きできる場としておはなし会を開催してきて5年、少子化の影響で参加者は少ないけれど、「ここに来るとホッとする」「ゆっくりと親子で楽しめます」など、いつもうれしい声が聞けて私たちがの励みにもなっています。今まではあえて大々的に宣伝はせず、会場近くの地域のみのお

「こねつと」おはなし会は、地域の親子が子育てを楽しむ、息抜きできる場としておはなし会を開催してきて5年、少子化の影響で参加者は少ないけれど、「ここに来るとホッとする」「ゆっくりと親子で楽しめます」など、いつもうれしい声が聞けて私たちがの励みにもなっています。今まではあえて大々的に宣伝はせず、会場近くの地域のみのお

「フォーラム石狩」の実行委員として

江別市女性団体協議会(社会教育委員) 蛸名 悦子

昨年11月8日、北広島市広葉交流センターで、社会教育共同事業「フォーラム石狩」が開催されました。私は社会教育委員になって4年になりますが、以前は自分の立場や果たすべき役割を十分に理解出来て無く、「フォーラム石狩」の案内をいただいても一度も参加した事ありませんでした。そんな私に、昨年8月「フォーラム石狩」の実行委員として参加しないかと打診がありました。「フォーラム石狩」は平成26年度から運営体制が変わり、江別市と北広島市で中部ブロックの実行委員会を組織することとなっています。私は、管内社会教育委員連絡協議会・管内女性団体連絡委員会から選出された実行委員として、「フォーラム石狩」に参加させていただきますことになりました。

実行委員としてまず私は、9月3日に北広島市で開催された第1回実行委員会に参加しました。実行委員会は両市の職員、教育関係者で構成されており、教育といつても子育て(家庭教育)しかした事が無い素人は私だけでした。不安な面もありましたが、皆さんのお話を聞いたり、意見を求められて考えたりしているうちに、少しずつ話し合いの輪に加わる事が出来るようになりました。サブテーマを「子どもを育てる地域活動」と決め、その後2回の委員会でも内容や運営方法などについて話し合いました。

当日は管内各市町村より90名が集まり、江別市からは21名の参加がありました。実践発表は、江別市青少年活動協会会長の関本勝幸氏と2名の青少年サークルリーダーによる地域の若者が地域の子どものために「江別市青少年サークルの実践から」と、実行委員でもある北広島市生涯学習推進アドバイザーの小西稔氏による「学校・家庭・地域が



江別で過ごして

江別の魅力や好きなど、江別で過ごして感じたことなどについて、市内の高校に通う学生と、3月をもって退職される大森高校の校長先生にお聞きしました。

江別で学んで、父と同窓生となる

とわの森三愛高等学校
3年 市川 徹

とわの森三愛高校の男子寮機農寮での3年間が終わりです。僕は才ホーツクの雄武町出身で、酪農を学ぶため、ここ江別にある父の母校にきました。寮生活での仲間との出会い、江別での人や農業、食との出会いは最高の経験でした。雄武ゆかりの人との出会いにびびりしたこともありました。地方出身の僕には、江別は大都会でした。コンビニが近く、他にも何でも揃うこと。交通機関もとても便利です。そんな都会の農業にアルバイトでかかわるチャンスもあり、住宅街と隣り合わせの経営に驚きました。沢山の酪農家が町の近くにあることから、都市型酪農の課題や対策の勉強にもなりました。こんなに都会なのに、森や緑がたくさんあり、農業も盛んな江別はすごく住みやすい町だと思いました。僕は将来、地元での酪農後継を目指しています。卒業して江別を離れるのは寂しいけれど、この思い出と、父と同窓生となる喜びを大切に、将来の夢に向かって進んで行こうと思います。



ありがたい、温かい人の町、江別

とわの森三愛高等学校
3年 手塚 麻菜美

私はソフトボール選手を志し、3年前の春、とわの森三愛高校に入学し入寮しました。江別についての印象は、地元・神奈川の密集する町並みとはまったく別の、豊かな自然・程よく都会・程良く田舎・広い敷地と雪の降る寒い冬。寮に入った私は、その中で勉強と寮生活とソフトボールに打ち込む3年間を過ごしました。地元を離れての3年間、江別の素晴らしい環境の中、大都会にはないゆたかりと流れる時を感じて過ごしました。あえて不便をあげるなら、半年は雪、春はグラウンドの雪割りからということ。でも私達ソフトボール部に寄せられた江別の皆さんからの応援は雪の冷たさを忘れる温かさで、大きな励みとなりました。昨春の全国制覇も皆さんのおかげです。ありがたいございました。江別で出会った人たちは、穏やかで優しく、時に熱くて、魅力ある人たちがかりました。江別を代表して大会に行く度の熱い応援と、3年間を支えていただいたことに感謝しています。



退職をまえに

大森高等学校
校長 矢倉 芳則

平成24年に本校に着任し、早くも3年目を終えようとしています。また、この3月をもって道立高等学校を退職することとなりました。教職生活の最後の勤務を大森高等学校で終えることを誇りに思うとともに、本校の教育方針

教育活動にご理解とご協力をいただいております。江別市の皆様からのお礼申し上げます。

本校は、昭和59年に「札幌市内の伝統校に劣らず、有名大学に入れるような進学校をこの地域に」という地域住民の強い願いのもとに開校されました。以来、「敬愛」の校訓に基づき、学力向上を最重要目標として、生徒一人ひとりの能力や特性を最大限に発揮できるように、教職員一同、教育活動に取り組んでまいりました。平成24年度からは制服も新しい、「生徒の数だけ夢がある」夢をかなえる大森高校を「スローガン」として、「進学重視型単位制」がスタートし、進学希望に応じた選択科目の設定、少人数制指導の導入など、これまで以上にきめ細やかな指導により、生徒一人ひとりの指導の充実を目指しています。お陰をもちまして、昨年の卒業生は北大、札幌大、慶応大をはじめ多くの大学に合格し、進学実績を上げることができました。勿論、高校教育の目的は大学進学のみにあるものではありません。民主主義社会を担う資質や愛と正義の精神を育成し、高潔な人格を形成することにあります。すべての生徒の夢を果たすべく、生徒と教職員が一丸となり高志をもち、夢に向かって邁進する本校に今後もご支援をよろしくお願いいたします。



江別の人の温かさ

大森高等学校
2年 矢ノ目 凌河

私は生まれてから十七年間、江別に住んでいます。高校は、他にもあった選択肢の中から大森高校を選択しました。文武両道の校風や通学のしやすさといった理由もありますが、「一番は江別という街が好きだからです。交通安全のボランティアの方は、いつも笑顔で挨拶を返してくれま

す。「行つてらっしゃい。」「学校頑張つてね。」という言葉は私の心を温かくしてくれます。些細なことですが、こんなことがこの街を象徴しています。大森高校も、やはり優しい生徒の皆さんや、様々な面で支えてくれる親切で熱心な先生方がいます。私は、この「江別の人の温かさ」に魅力を感じます。これからもこの街を大切に思い、将来は私を育ててくれたこの街に恩返しをしたいと思っています。



会員の活動紹介

江別市菊友会

江別市菊友会は、昭和26年5月に菊友会として創立しました。その後、昭和34年に現在の名称に変更し、昭和41年に設立された江別市文化協会に参加。昭和46年に「菊」が市の花として制定された後、平成7年には江別市生涯学習推進協議会に加盟しています。

当会の活動は、主に11月1日〜3日に中央公民館にて行われる、江別市市民文化祭の市民菊展に向けて行われます。25名の会員が総数200鉢以上の出品をすることを目標に、この日までに「菊花」を満開にすべく、毎月1回研修会を開き、会員相互の親睦を図りながら技術の向上を目指して活動しています。

少くも、大森の栽培に関してお話をさせていただきます。よく、「大菊は種ですか?」と聞かれますが、種ではありません。冬寝かせた昨年の花が終わった鉢から新たに発芽した苗を大きくし(挿し穂)、その挿し穂を切り、挿し芽をし、根を出し育てます。この苗を育てて、作り方の基準に合わせ、三本仕立や一本仕立、また挿し芽の時期をずらして、ダルマ仕立や補助仕立などを作ります。三本仕立と言っても苗は一本からです。10cmくらいのところで脇芽を出し、3本の脇芽を伸ばして3花を咲かせるのです。また、大菊とは別に「小菊作り」があり、これも作り方により前垂れ仕立、懸崖仕立、盆栽仕立などがあります。大菊の三本仕立が重くなり、鉢の移動が難しくなると、軽くて片手でも持てる小菊の栽培もあります。

札幌では中学校のクラブ活動などでもやっているようです。札幌市市民文化祭にも出品されています。江別市においてもその様な学校があると良いのですが、お手伝い致します。

当会の新年度の始まりは、5月末の新人講習会(江別市の広報5月号にて募集予定です。少しでも興味のある方は、一緒に栽培し花を咲かせてみませんか? 苗の供給は致します。写真は昨年の新人の作品です。

江別市菊友会 事務局
松下 公洋
電話番号: 384-11034



これからのイベント

- ◆江別消費者協会
 - リフォーム教室
古布や古くなった洋服やセーターを使って小物づくり(アクセサリー、足カバーなど)
日時/2015年3月3日(火) 10:00~15:00
場所/勤労者研修センター
- ◆えべつ手話の会
 - おひな祭茶話会
日時/2015年3月5日(木)
場所/社会福祉センター
 - 卓球大会
日時/2015年3月11日(水) (予定)
場所/社会福祉センター
- ◆江別演劇鑑賞会
 - 加藤健一事務所
「バカのカベ〜フランス風〜」
バカなゲストを招き、パーティを開くという悪趣味の男に突然訪れる悲劇。加藤健一と風間杜夫が30年ぶりに共演する爆笑コメディ。
出演/風間杜夫、加藤健一他
日時/2015年5月10日(日) 18:30~
場所/江別市民会館大ホール
※会員限定のイベントとなります。
入会・鑑賞をご希望される方は、江別演劇鑑賞会事務局(TEL:383-3222)まで。

《編集後記》
そろそろ春めいてまいりました。皆さんはお元気でお過ごしでしょうか?
医師 日野原重明氏のお言葉に「75歳から新しいことを創めよう」とあります。いくつになっても創めることが大切なのですね。
当協議会も20周年を迎えますが、「何かを創めるきっかけ」のお手伝いが出ますように、これから「5・5・5」をぜひ活用ください。

What? アメリカの手話 & 日本の手話

PINK ピンク色

